



第637号

令和2年11月1日

ジオスペース館だより

星図はステラナビゲーター11を使用して作成

★ 今月の星もよう ★

日ごとに秋が深まり、日の入りも早くなってきました。秋の夜長、星を見るには絶好の季節ですね。さて、11月中旬の夜8時頃、南の高い空には秋の星座たちが勢ぞろいしています。先月、準大接近を迎えた火星が目を引きませんが、秋の星座の目安、空を駆ける天馬「ペガサス」の胴体である、【秋の四辺形】は火星のすぐ右上にあります。

【秋の四辺形】から星をたどってみましょう。左の辺を北へのばすと、Wの形をした王妃「カシオペヤ」と王様「ケフェウス」が並び、四辺形の左上の星を頭に、横たわっているのは美しい姫「アンドロメダ」、その足元には勇敢な王子「ペルセウス」が控えています。そして、四辺形の左の辺を南へのばすと、2等星のディフダ（クジラ座）が見つかります。秋は暗い星が多いのですが、「ペガサス座」「カシオペヤ座」「ケフェウス座」「アンドロメダ座」「ペルセウス座」「クジラ座」が一度に登場し、〈古代エチオピア王家の物語〉という、壮大な神話の世界が広がっています。神話の世界を想像しながら、秋の星座をたどってみませんか。



★ 水星を観察するチャンスです！

水星は太陽系の最も内側を公転しているため、水星を見つけやすくなる時期は、見かけの位置が太陽からはなれる「最大離角」の前後だけしかありません。11月11日は、水星が西方最大離角となるため、今月は水星観察のチャンスです。11月3日から19日まで、日の出前の東の低い空で、水星を見つけやすくなりますので、ぜひ観察してください。

※月の大きさは約6倍で描いています。

★ 月が金星、水星に接近！

11月12日から14日かけて、日の出前30分くらいの東の空で、新月前の細い月が、金星、水星の近くに見えます。12日は月、金星、水星と等間隔で縦に並び、13日には金星の左側に月、その下に水星が、14日には金星、そして水星の左側に月が見えます。水星は双眼鏡を使うと探しやすくなりますが、誤って太陽を見ると失明の危険性がありますので、日の出前には観察を終えましょう。

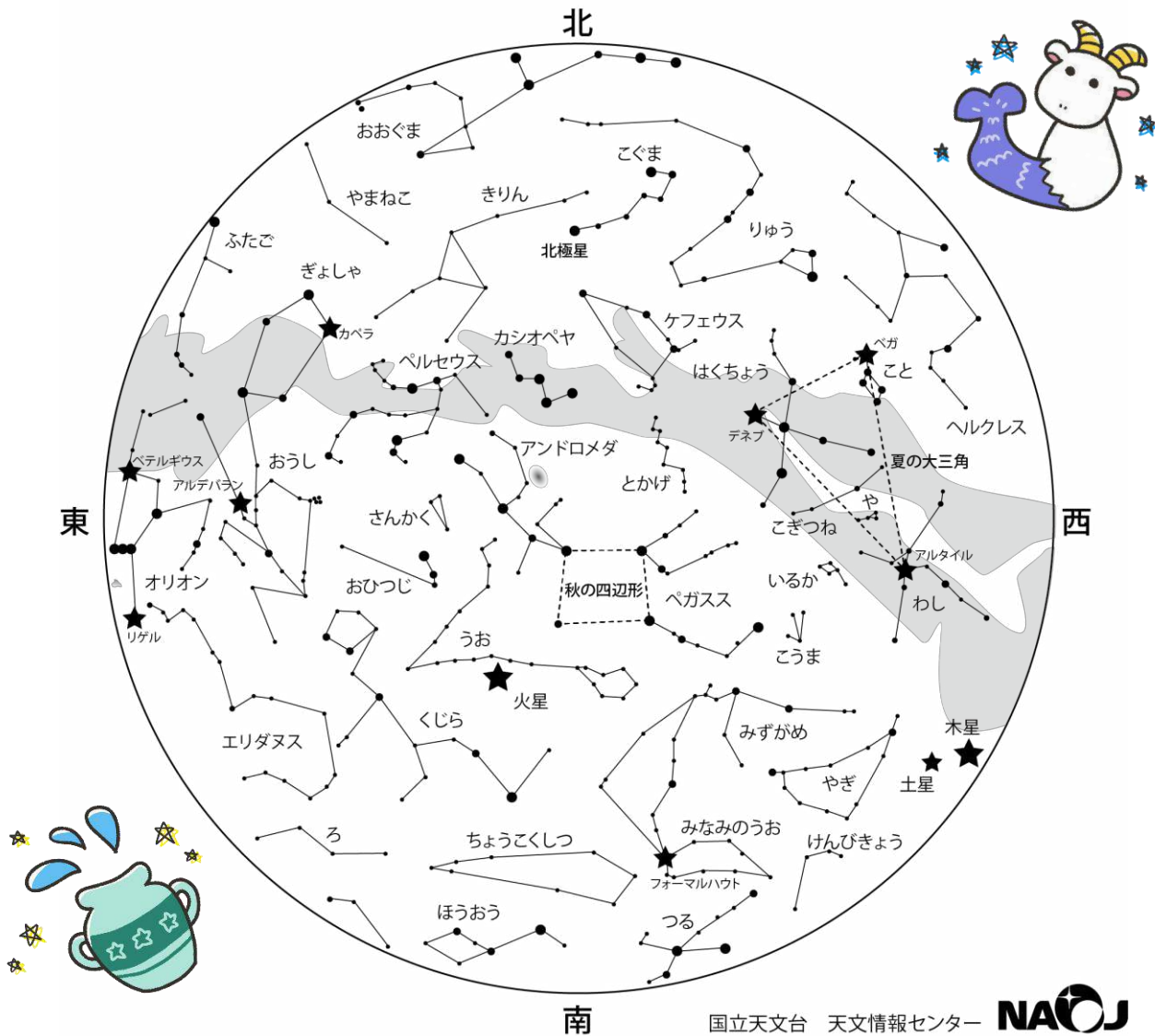


★ 11月のプラネタリウムの内容につきましては、別刷りの「投影案内」をご覧ください ★

★ プラネタリウムのお休み 11/2(月)、4(水)、9(月)、16(月)、18(水)、24(火)、30(月)

★ 新型コロナウイルス感染症対策で、入場定員を減らして投影しています。

11月上旬午後9時頃の星空



国立天文台 天文情報センター **NAOJ**

★ 11月上旬の主な天文現象

1日(日) 天王星が衝	13日(金) 月が金星に接近
7日(土) 立冬	14日(土) 月が水星に接近
8日(日) 下弦、月とプレセペが接近	15日(日) 野口さん打上げ(予定)、
11日(水) 水星が西方最大離角	● 新月(半影月食)

★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 11/1~15) ※ 下記時刻は、予想値です

◇ 11月 9日(月) [見やすさ ◎]	5:33 北西	~	5:39 東南東
◇ 11月10日(火) [見やすさ ◎]	4:47 北	~	4:51 東南東
◇ 11月11日(水) [見やすさ ◎]	5:34 西北西	~	5:40 南南東
◇ 11月12日(木) [見やすさ ◎]	4:49 西	~	4:53 南東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。